



設立の趣旨

かつて最大の外様雄藩としての歴史を刻んだ加賀藩と前田家、その城下金沢の歩みを伝える史料を収集、保存してきた金沢市立玉川図書館では、これらの史料の保存とその活用を充実・拡大していくため、従来からの近世資料室を平成11年(1999年)11月に「近世史料館」と改称し、施設・設備・機能をさらに充実しました。金沢の歴史を伝える古文書類を保存し、広く市民のみなさんの活用にと供すると共に、長く後世に伝えていくために設立されたものです。

設立の経緯

- 昭和3年9月(1928) 図書館設立が金沢市議会で決議され、中島徳太郎氏が建設資金を寄付
- 昭和4年1月(1929) 「稼堂文庫」「犀川文庫」が寄贈され、近世史料館蔵書の第1号となり、以後、市民からの史料寄贈が続く
- 昭和5年7月(1930) 「大礼記念金沢市立図書館」が大手町に開館
- 昭和23年8月(1948) 館名を「金沢市立図書館」と改める
- 昭和23年9月(1948) 前田利建氏より「加越能文庫」を寄贈される
- 昭和48年8月(1973) 史料の保存・活用のため、マイクロフィルム化事業始まる
- 昭和54年4月(1979) 大手町から現在の玉川町に移転し、新図書館が開館と共に近世資料室も設置される
- 昭和55年9月(1980) 「古文書講座」を開講 現在「藩政文書を読む会」として継続
- 平成3年5月(1991) 「古文書入門講座」開講
- 平成4年4月(1992) 古文書補修事業始まる
- 平成4年10月(1992) 「近世文学講座」開講
- 平成7年4月(1995) 館名「金沢市立玉川図書館」と改める
- 平成8年3月(1996) 「金沢市立図書館叢書」第1巻「金沢町名帳」が刊行される
- 平成10年12月(1998) 「近世史料館」の工事着工
- 平成11年11月(1999) 「金沢市立玉川図書館 近世史料館」が開館

施設の概要

構造	煉瓦造(鉄筋コンクリート補強)及び鉄筋コンクリート造 地上2階建			
規模	建築面積 780.13平方メートル/延べ面積 1,544.27平方メートル			
電気設備	受電電圧 6,600V(本館含む) 電灯 1Φ3W210-105V 動力 3Φ3W210V			
電話設備	多機能電話機 2台 内線電話機 4台			
電気時計設備	子時計 5台(親時計は本館)			
放送設備	防災アンプ 360W 20局			
テレビ設備	直列ユニット 5ヶ所			
監視カメラ設備	監視カメラ 2台 モニター 1台			
火災報知設備	複合盤 P型 1級100回線			
消火設備	屋内消火栓3ヶ所 消火器10個(ABC粉末10型) 特殊ガス消火(HFC23) 1・2階専用(50kg/14本)			
空調設備	直膨型エアハンシステム			
	室内機(1)	1台	冷房能力 16.1kw	暖房能力 16.7kw
	室内機(2)	1台	冷房能力 32.9kw	暖房能力 33.6kw
	室外機	1台	10HP×2	
	ユニット型エアハンシステム			
	室内機(1)	1台	冷房能力 66,000kcal/h	暖房能力 69,000kcal/h
	換気用ファン	5台	排風機(排煙用その他) 2台	
昇降機設備	油圧式6人乗り(車椅子対応) 1台		積載荷重 450kg	速度 45m/min
			動力電源 AC-30/210V	60Hz



©小野吉彦

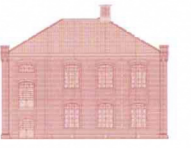
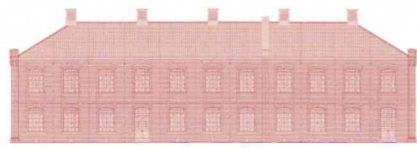
建物の沿革

現在、近世史料館となっている建物は「金沢市煙草製造所」として、明治44年に建設が着工され大正2年に完成したもので、当時は、赤煉瓦造り・2階建て・全長280mの回廊式の建物でした。

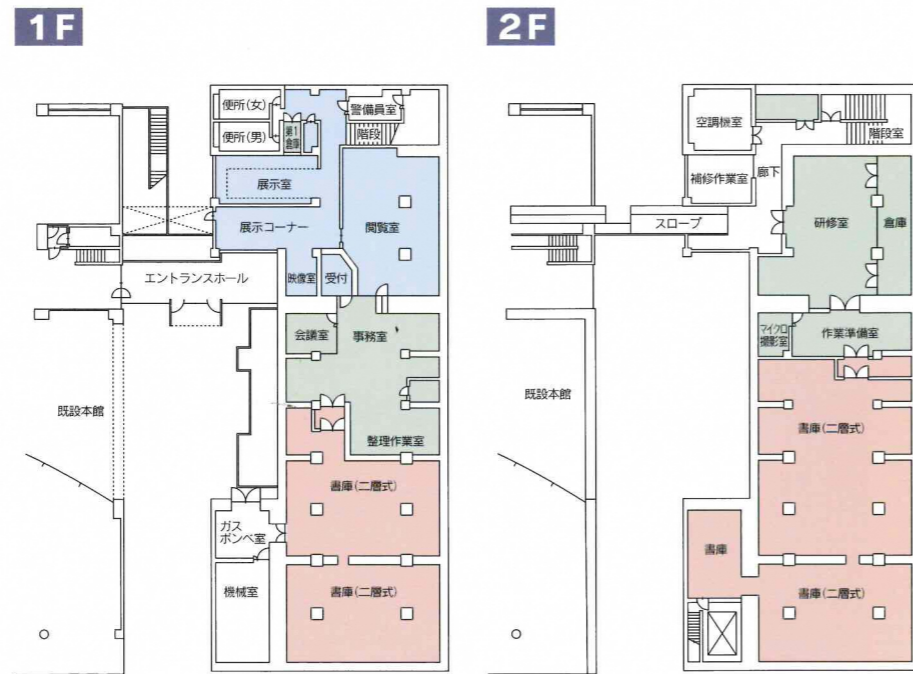
昭和47年に「煙草製造所」は移転し、翌昭和48年より建物の取り壊しが行われましたが、現「近世史料館」の建物については金沢市が譲り受け、昭和54年に大手町より移転開館した「金沢市立図書館」の「近世資料室(近世史料館の前身)」として再生・活用することとなりました。

昭和59年、建物は「金沢市指定保存建造物」に指定され、さらに平成8年には国の「登録文化財」の指定を受けました。

煉瓦造りの建物は、長い歴史の特徴のあるフォルムを保ちながら、現在その姿は街の中では、ひととき美しく存在感のある建物です。



施設平面図



施設案内-1



■閲覧室受付
閲覧の希望や必要に応じてマイクロフィルム等から複写の受付もしております。

施設案内-2



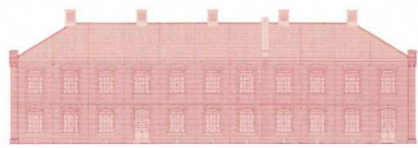
■閲覧室 ©小野吉彦



■映像室
プログラムの中から好きな番組を選んで鑑賞できます。



■展示室
テーマに基づいた展示会を定期的を実施しています。



史料館の業務

近世史料館では広く加賀藩政時代の史料の収集・保存し、利用に供しております。収集史料の範囲は近世(江戸期)を中心としますが、近世以前ならびに近代の史料も収集の対象としております。

これら史料収集と公開利用のため、以下のような業務を行っています。

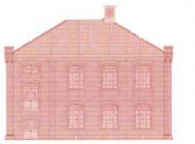
1. 史料の所在調査
2. 史料の購入、寄贈などによる受け入れ
3. 収集史料の保存、整理
 - ・熨蒸(くんじょう)
 - ・補修、修復
 - ・マイクロフィルム化、ならびにCD化
 - ・目録の刊行
4. 史料の閲覧
 - ・コピーサービス(一般複写・マイクロフィルム・絵図CD-ROM)
 - ・写真撮影可
5. 史料、および郷土の歴史に関する参考業務
 - ・情報提供
6. 史料集の刊行
7. 古文書解読のための講座の開催
8. 所蔵史料を中心とした展覧会の開催



■補修作業室
収集史料の補修、修復を行っています。



■書庫
文書の保存に最適な温度・湿度を一定に保っています。



近世史料館所蔵文庫

平成14年4月現在

文庫名	点数	内容
091 稼堂 文庫	7,964	漢学者黒本(稼堂)氏蔵書 漢籍・国学・郷土資料
092 犀川 文庫	1,152	漢学者井口(犀川)氏蔵書 漢籍
093 蘿月窟文庫	342	藩校明倫堂講師藤田維正(容齋)氏蔵書 国学・漢学
094 奥村 文庫	605	加賀八家の一つ奥村家(嫡流)に所蔵されていた職務日記等
095 河野 文庫	938	藩末の兵学者河野久太郎氏が収集した史料や河野家の和洋兵学書
096 藤本 文庫	4,420	金沢の西洋医学の草分け藤本純吉氏蔵書 医学・国学・能楽
098 津田 文庫	773	有沢一門の兵学者、津田家に伝承された資料 郷土資料
099 松宮 文庫	1,386	石川県的女子教育につくした松宮助之丞氏蔵書 国学・漢籍藩校明倫
特10 大島 文庫	614	堂都講大島維直(貫川)氏と桃年、善の儒学蔵書
特11 金陽 文庫	949	日本画家大西金陽氏蔵書 絵画・詩
特12 斯波 文庫	765	工学者斯波忠三郎氏蔵書 理工学書
特13 氏家 文庫	2,031	郷土史研究の振興に尽くした氏家栄太郎氏蔵書 史書・地誌
特14 古愚軒文庫	2,738	漢学者大島熙(古愚軒)氏蔵書 漢籍
特15 佐々木文庫	1,531	大聖寺藩の藩医佐々木秀三郎氏蔵書 漢方医学
特16 加越能文庫	34,405	前田育徳会尊経閣文庫所蔵資料の中から寄贈された藩政文書
特17 河合 文庫	297	鹿島郡で十村役を勤めた河合家蔵書 郷土農政資料
特18 清水 文庫	781	歴代加賀藩御大工方を勤めた清水家蔵書 加賀藩建築工芸資料
特19 後藤 文庫	249	加賀藩で代々穴生方を勤めた後藤家蔵書 金沢城築壘資料
特20 蒼龍閣文庫	4,336	高岡市の旧家佐渡家に伝承された蔵書 和・漢・蘭学・郷土資料
特21 村松 文庫	2,151	「江戸三度飛脚」の頭取を勤めた村松家蔵書 俳諧・狂歌
特22 岸 文庫	1,027	経武館剣術師範を旧藩士岸家蔵書 武芸資料
特23 富田 文庫	1,071	藩政期金沢で俳諧の家系として知られた館屋(富田)の俳諧資料
特24 泉景 文庫	81	加賀藩お抱絵師佐々木泉景をはじめとする佐々木家伝来の絵画資料
特25 中島 文庫	270	中島徳太郎氏寄贈の基金を基にして購入 紙と豪華本資料
特26 中山 文庫	1,733	中山喜作氏が長年にわたり収集した誦本を中心とするコレクション
特27 西尾 文庫	1,235	大聖寺で代々算学を研究 教えてきた西尾家蔵書 算学資料
特28 九谷 文庫	550	九谷工業同業組合蔵書 明治・大正・昭和期の美術関係書
特30 春風館文庫	1,919	山岡鉄舟とその道場春風館に関わる剣道資料を中心としたもの
090 郷土資料	6,239	その他の郷土資料
K 郷土資料	3,781	文庫以外の郷土資料
和本 和装本類	5,643	郷土資料以外の典籍類
合計 点数	91,976	

特16 加越能文庫(全点) 特24 泉景文庫(一部)は金沢市指定文化財



■加越能文庫等